

校長のたわいもない独り言：再び

つぶやきⅡ

令和3年5月24日（月）第16号
発行人

凶暴な雑草”スギナ”をどうし
てくれようか思案中の川崎先生

♥命の授業 5/14（金）に思う♥

講師の若尾さんからこんな話を聞いた。講演の後に子どもたちから手紙をもらうが、その手紙が約4万通になった。そしてその中の約4百通に「死にたいと思ったことがある」と書かれていたという。本来であれば、その悩みを誰かに（父母、先生、友達等）に相談すればいいのだが、相談した人はいないと言う。なぜかという・・・「大切な人たちに迷惑をかけたくないから」なのだという。

はっきり言おう。「人に迷惑をかけてもいい」んだよ。昔から「人に迷惑をかけるな」ということが言われているけど、そんなのうそっぱち。人間と言う生き物はね、迷惑をかけずには生きていけないものなんだ。人間にとって迷惑とは、良いとか悪いとかというレベルで論ずるものじゃなくて、当たり前人間とともにあるものなのだから。

逆に聞こう。迷惑をかけずに生きるってどんな生き方なんだろう。迷惑をかけずに生きられるのだろうか。もしもそんな人がいるのなら逆に教えてほしい。

人間は生まれ落ちた瞬間から誰かの手に支えられ、天寿を全うするまでに数えきれないほど多くの人の力を借り、星の数ほどの失敗や間違いを越えて生きる。その間、ある行為がもとで、他の人が不利益を受けたり、不快を感じたりすることなど山のようにある。でもこれはすべて持ちつ持たれつお互い様のことであり、悩んだり心配したりすることではないんだよ。もう一度言う。「人に迷惑をかけていい」。それが当たり前。そしていろんな成功も失敗も、お互い認め合い受け止め合えるような、そんな世の中がいい。

◆お客様は Welcome&ウエルカム◆

ある学校開放日に、あるお父さんが校長室を訪ねてきた。県警へ勤める警察の方だ。いろんな話に花が咲く。その中でそのお父さんがこう言った。“親も学校も警察も同じですよ。みんな子どもたちのことを思っている”と。そうなんだよね。みんなそれぞれの立場から子どもたちの幸せを願っている。だから職業関係なくどんどん学校に来て、いろんな話をし、繋がり合って、子どもたちの未来を語れたらこんなに素晴らしいことはない。警察OBでスクールサポーターのみのもんた山本さんだって、西地区の交番に勤務していて仲良くなった齊藤さんだそーだって、みんな子どもためを思っているのだから。

4月以降1年生女子のお母さん（御勅使中教え子）や3年生女子お母さん（巨摩中教え子）も校長室に顔を出してくれた。もちろんこんな関係があろうとなかろうと、子どものことや、趣味のことや、夕飯のおかずのことや、おいしい焼きそば店のことや、昔の小笠原商店街のことや、あれやこれやなんでもOKなので、本当に気軽にお越しください。いつでもwelcomeです。

あっ、「スーパーカブ」のことでもOKですよ。マニアックな内容（キタコのキャブに変えたとか、ハイカム&ハイスロにしたとか、メツラーがなんちゃら、TT100がなんちゃら）も大丈夫ですが、あまりにマニアックすぎて引かれるかもしれないっす(〜)